

「東西線ソーラー発電所」計画、続々進行中

みんなのECO. 東西線行徳駅に太陽光発電システムを新たに設置

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、2020年度に向けた長期環境戦略「みんなのECO.」を掲げ、東西線地上駅へメガソーラー規模の太陽光発電システムを導入する「東西線ソーラー発電所」計画を展開していますが、平成26年3月27日（木）に行徳駅に太陽光発電システムを新たに設置いたします。

これにより当社では、東西線（西葛西駅～原木中山駅）7駅、千代田線北綾瀬駅の合計8駅に太陽光発電システムの設置が完了しました。

今回新たに設置した行徳駅の太陽光パネルの最大出力は108kW、発電開始後の年間発電電力量は約108,000kWhを見込んでいます。これにより、約57t（一般家庭32世帯分）のCO₂が削減されます。発電した電力は、駅のエスカレーター・エレベーター、照明等の付帯用電力※に使用します。また発電量が多い場合、隣接の駅に融通して利用することが可能です。

今後は東西線西船橋駅に太陽光発電システムを導入する予定であり、西船橋駅の設置が完了すれば、メガソーラー規模の「東西線ソーラー発電所」計画が完成いたします。

引き続き再生可能エネルギーの利用を進め、環境負荷低減に貢献してまいります。

※付帯用電力とは、駅などの照明、バリアフリー施設、空調、信号、通信などの電気設備用電力を指す



「東西線ソーラー発電所」計画

